

【めむろ未来ミーティング日程 2】

令和 2 年 1 月 14 日 (火)

10:00～11:30

西芽室地域福祉館

■参加者 6人

■芽室町 副町長、総務課長、農林課長補佐、建設
都市整備課長補佐

■記 録 矢野

■対応・検討が必要な事項

①冬休み期間の件（学校教育課）

②スクールバス路線の件（学校教育課）

- 1 開会
- 2 副町長挨拶
- 3 町からの説明事項
『公共施設の配置構想』
- 4 意見交換

【意見】

公共施設の配置構想の中で車両センター移転という話を聞いたが、芽室西小学校の運動会や学習発表会などの行事では車両センターを利用している。どこの利用を考えているのか。

【副町長】

現在の車両センターは住宅地の中にあり、この状況が好ましくないとの考えから移転を検討している。町としても学校行事には車両センター駐車場を利用していることは承知している。すべての車が駐車できるかは別して、グラウンド北側の教員住宅を芽室小の教員住宅に集約して、その跡地を利活用できないかと考えている。また、すべてが駐車できないこ

とも考えられるので芽室公園の駐車場などで活用する方法もある。いずれにしても学校付近に路上駐車は禁止であり、学校・教育委員会・PTAなどと協議しながら、行事の時の利用を考えていく。

【意見】

この会館の利用について。平成 28 年の災害時には中島地区の方がこの福祉館を利用した経緯がある。もし、芽室川や十勝川が氾濫した場合は上に逃げるほかないので、高台に必要ではないか。

【総務課長】

市街地・農村部を含めて地域会館は 30 カ所以上あり、耐震性や規模など地区協議のまとまった地域から順番に建て替えや統合などを進めているところである。意見としてお聞きし、その旨を防災担当に伝える。

【副町長】

計画では令和 4 年から 6 年の 3 年間で西芽室地域福祉館のあり方や方向性を決めることになっている。高台のこの場所は水害には理想的だと思う一方、そのために施設を作るのかということは非常に難しい問題でもある。災害の拠点という考え方もある。また、コミュニティの場という視点もある。また、施設を維持していくには地域の皆さんにお願いすることにもなるので、時間をかけて議論していくことになる。

【意見】

この地域は水の課題もある。上水道の整備を早急にしてほしい。平成 28 年災害では様々な課題も出ていたので。

【副町長】

水道の関係では南平和に浄水場があるが水量が少なく水質も良くないこともあり、道営事業を進めているので一定程度は整理できていると考えている。ご存知かと思うが洪山の下の方が無水源。農業用水や生活用水としても考えていく必要があると思っている。

【意見】

町内の無水地区は少ないはずだが。

【副町長】

上伏古・雄馬別地区が札内ダムを利用している。上水道でいくと管がないのは洪山の下台。インフラ整備は重要ではあるも管の延長などには相当な事業費を要する。これらを総合的に考える必要がある。

【意見】

農家戸数は減少している実態はあるが水の整備は必要不可欠である。これからは散水がもっと重要になってきているので大量に撒ける状態が望ましい

【副町長】

おっしゃるとおり。気象状況が変わって春先の干ばつも考えられ、水を制することが農業を制するとも言われている。飲む水・撒く水ともに重要性は認識している。物理的には新美生・洪山を通して御影の管につながくことは水圧もあり可能だと思っている。国にも要望を継続したい。

【意見】

資料にあるピウカ親水公園の整備とはどんなものか。ピウカ川を利用して魚がいるのか、遊具を置いて親子で遊べる公園なのか。どんな構想なのか。

【建設都市整備課長補佐】

北海道と協議を進めていて芽室川と十勝川の合流地点から芽室川の掘削工事を行っている。それに併せる形で一部遊具を設置する予定である。できれば、河川敷を歩けるような遊歩道を整備したいと思っている。

【意見】

ピウカ川には魚がそこそこいるし、カモなども鳥もいて、環境が素晴らしい。町外の人も来たくするような公園にしてほしいと願っている。

【副町長】

イメージは札幌豊平公園の縮小版のような公園になってほしいし、遊歩道を活用した散歩できるものが理想である。

最終的には車両センター後の宅地になった場合でもピウカ親水公園付近に住みたいと思ってもらえるし、そばには芽室西小学校もあるので若い世代の方にも魅力的な場所にもなる。

【意見】

ごみの件。年末に廃プラのアンケートがあった。くりりんセンターが建て替えになる話を聞いた。農業に係る廃プラも回収できる施設が良いと思う。

【副町長】

くりりんセンターは組合で運営しているため、芽室町の意見がすべて通るわけではない。廃プラの処分には相当の費用が要することと一般家庭のごみではなく、産業廃棄物であり、法律的な課題もあることを踏まえて協議していきたい。

【意見】

十勝全域の施設であり、その基幹産業である農業の農家が抱え課題であるということを分かってほしい。

【副町長】

意見として承知した。

【意見】

農村部の公共施設の件。西芽室地域福祉館の見通しをもう少し詳しく説明してほしい。

【副町長】

雄馬別と北伏古は来年度に再整備の予定であるが2・3年かけて、それぞれの地域で協議をしていて、現在も続いている。令和4年～6年の予定であり、西芽室においても時間をかけて協議することになる。

【意見】

地区協議は何をもって協議終了と判断するのか。

【副町長】

この場所にこの施設が必要だとすることが前提とすれば、同規模にするのか、コンパクトにするのか、統合するとすればどの地域とするのか。

北伏古地区のように保育所・J A施設・福祉館などあれば、使用できる施設を再利用するのか、別の場所に建てるのかなどの話し合いが必要になる。

【総務課長】

施設はあったほうが便利だが、実際に維持管理するのは地域の若年層という実態もあり、役員が交代になった時にさまざまな意見が出る場合もある。

かつての福祉館はコミュニティの場としての役割がメインだったが、現在はそれにプラス防災や避難場所としての役割が重要になっている。どんな機能なのか、どんな規模なのか、維持管理はどうするのかなど多岐に渡って地域協議が必要になる。

【意見】

費用対効果という視点もあるのか。

【副町長】

金銭的なものもあるが、かつては地区としてこのような施設を利用して、さまざまな会合などを行ってきたと思う。しかし、時代が変わって人が変わって、そのような機会は減っている。それはこの地域だけではなく、全町的に言えることなので効率的な視点も入れなくてはならない。

【意見】

西芽室地区は何戸を想定して考えるのか。西芽室区・中島区で15戸と理解しているが

【副町長】

戸数ではなくエリア。高台には一カ所。町としては地域の皆さんが必要なものは整備する必要がある一方で費用対効果という視点もある。

【意見】

一度建てると30年や40年は使う。現在15戸なら、30年後には3割か4割減っていると思う。その時に維持する人が気の毒だ。

【副町長】

遠い将来を見通すことは難しいが維持管理ということを念頭に置きながら協議する必要もある。その一方で老朽化したこの施設をいつまでもこのまま先送りにすることもできない。

町内の福祉施設は昭和50年代に建設したものが多く、西芽室だけではなく、ほかの地域でも同じ課題をもっているのが実態である。

【意見】

個人的な考え。この施設は会合くらいしか利用していないと思う。会合なら農協施設を利用すればいい。しかし、防災備品などの保管場所の問題だけ。

【総務課長】

昭和40年代・50年代の地域会館の役割はコミュニティの場であったが現在は災害時や防災時が役割も加わった。

農村地域は避難所よりも自宅のほうが立派で安全という方が多い。そうすると自宅で用意できない備品を準備する建物という考え方もある。

他の地域では新しい施設を作っているので参考までに見学することもいいかもしれない。

【副町長】

西コミュニティセンターは緑町生活館という古い施設を統合した。市街地は町内会単位で活動することが多いが、施設を統合した結果、複数の町内会と一緒に活動して好評だとの声を聞いている。

市街地は町内会単位で会館を管理しているところがあり、今後はある程度集約して、維持管理する必要があると思っている。

【意見】

学校の休みの件。小学校と中学校で三学期の開始

する日が一週間も違う。働く親にしてみると負担が大きいのので全く同じにはならないまでも2・3日程度にならないか①。

この地域でスクールバス路線がない。担当に聞くと「もともと通ってない」という回答であった②。

【総務課長】

すべての担当者が来ている訳ではないことをご了承願う。

長期休みの期間設定の件、スクールバスの路線の件は持ち帰り、後日回答したい。

【意見】

子どもたちはバスを利用する紙を学校に提出するが、この地区には路線名がないので何て書いていいのか困る場合がある。路線名をつけてほしい②。

【総務課長】

承知した。

【意見】

免許返納する方も増えてくると思う。コミバスがあると助かる。

【副町長】

去年からタクシー助成を試験的に実験して、2月にもモニター制度をやる予定。この地域でも興味のある高齢者がいれば検討してほしい。

農村部に市街地と同じコミバスを運行することは厳しいことから、タクシー助成を考えている。

【意見】

行政区の統合などは考えているのか。中島区などは5戸しかない。これからそのような区が出てくると思うが。

【総務課長】

農村地区はエリア分けであり、そのような考えはない。

【意見】

町に住みたくなる支援とか考えてないのか。上士幌町は手厚く、人口も増えていると新聞報道もあった。

【副町長】

新年度の予算にはなるが学校給食も単価が上がり厳しい状況だが現在の保護者負担を上げない方向で食材の内容を充実しようと考えている。

昨年度から中学生までは医療費の実質無償化をしているがその上まではなかなか厳しい。子どもがいる方が市街地に住宅を建設した場合30万・50万円の奨励金を継続している。

【意見】

公立病院はどんな形になっていくのか。

【副町長】

病院自体が今の形のままのフルスペックであり続けることは厳しいが、このまま残すにはどうしたら良いかということを考えている。産科廃止には苦渋の決断だった。

小児科は一部休診している時間帯もあり、何とかしたい気持ちはある。

【意見】

子を持つ母親の立場なら、小児科の医師がコロコロ変わるなら安心できない。わが子を同じ先生にしっかりと診てほしいと思う。

【副町長】

理想が固定の医師がいて、生まれてからずっと診てもらい、そのカルテを見ながら診察されるのが望ましい形で保護者としては安心できる。現在は一人の医師でフルの状態ではない。

【意見】

町の除雪の臨時職員の件。管外からの職員がいると聞いた。今まで携わったことがある者としてそれは違うと思うことがある。

【建設都市整備課長補佐】

オペレーター募集をしても確保できないほど厳しい状況であり、大変苦慮している。考え方としては、町内在住者が町の道の除雪をするのが理想であることに変わりはない。

今後は人材確保のための手法などは考えたい。

【意見】

車両の専門職を採用する考えは。

【副町長】

現在はいつ技術系職員を採用するということは考えていない。役場全体では専門的な技術を必要とするものは民間に依頼するという考え。しかし、民間にない場合はどうするかという議論は必要であると思っている。



11:30 終了